

2023年度 国際研究フォーラム

見られることで何が変わるのかーツーリズムと宗教文化

To Be Seen: Changes Through Interaction Between Tourism and Religious Culture

日時:2023年12月17日(日)13:30-17:30 ※13:00開場・受付開始

会場:國學院大學渋谷キャンパス 120周年記念2号館 1階 2101教室

プログラム:

13:30-13:35 開会挨拶／趣旨説明

13:35～14:05 発題(1)

石本東生氏 ISHIMOTO Tohsei(國學院大學観光まちづくり学部、教授)

「『ギリシャ』:神話とキリスト教の舞台そして観光ー文化遺産を活かす共存ー」

14:05～14:10 休憩

14:10～14:40 発題(2)

沈昭良氏 SHEN Chao-Liang(写真家、華梵大學攝影與VR設計學系、教授)

「写真と社会風景ー『STAGE』『Singers & Stages』『台湾綜芸団』を例にー」

14:40～14:50 休憩

14:50～15:20 発題(3)

加藤久子氏 KATO Hisako(大和大学社会学部、教授)

「共生の物語をつむぎなおすーポーランドに出現した2.5次元のユダヤ人街ー」

15:20～15:25 休憩

15:25～15:55 発題(4)

ケイレブ・カーター氏 Caleb CARTER(九州大学大学院人文科学研究院、准教授)

「自分を取り戻す／山里を取り戻すー修験道とツーリズムの交錯ー」

15:55～16:05 休憩

16:05～16:20 コメント

山中弘氏 YAMANAKA Hiroshi(筑波大学名誉教授、日本文化研究所客員教授)

16:20～17:30 リプライ・総合討議

主催:國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所

使用言語:日本語